令和7年度栃木県地域大学連携事業 中間報告会

栃木・相撲の伝統と健康をつなぐ未来プロジェクト

2025年10月24日 第2部(13:00~15:00)

国際医療福祉大学 理学療法学科

学生代表:神野藤 茜



取り組みの背景

栃木県は**初代横綱 明石志賀之助** を輩出した地域 プロ・アマチュアとも**全国で活躍する青少年を育成**している

相撲が伝統的に根付く地域である

- -地域の抱える課題-
- ●科学的・医療的支援体制の未整備
- ●医療に関わる人材との橋渡しができていない

相撲を通じた

「伝統文化×健康支援×人材育成」の新たなモデル



本事業の目的



地域文化の継承/ 価値の再発見



医療系大学の学生との競技接点の創出



科学的視点をもった医療系人材育成と地域展開の起点の形成

医療系大学の人材 と 地域相撲団体・育成現場 をつなぐ

事業体制と対象

1.実施主体

国際医療福祉大学 理学療法学科

2.連携機関

- · 栃木県相撲連盟, 大田原市相撲協会
- ・黒羽高校相撲部
- ・一般社団法人トップスターユニオン

3. 対象

地域の小学生~高校生年代 相撲競技者

指導者, 保護者

4.体制

- ●学生(1~4年生)14名
- ●指導教員 7 名

地域に根ざした相撲文化と大学の専門性を融合し、持続可能な支援体制

ここまでの活動報告

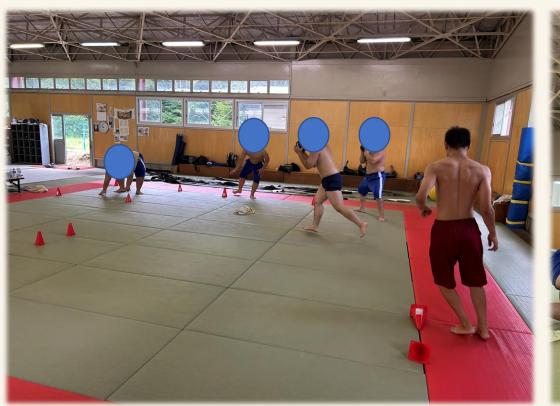


活動報告①:トレーニング指導機会

- ●選手へのトレーニング指導,栄養指導
- ●健康チェック など

10回+

年間実施回数





活動報告②:計測会の実施

相撲競技者の身体機能と運動特性を評価する計測会/健康相談会を実施予定

測定項目

- 体組成測定(筋肉量・体脂肪率)
- 立幅飛び、垂直跳び
- 敏捷性テスト(短距離、アジリティ)
- 握力、足趾把持力
- ●選手・指導者へのフィードバック
- ●保護者への健康啓発を実現

60+

2回

延べ参加者数

年間実施回数

小学生から高校生まで 保護者の健康相談 夏季・冬季





活動報告③: 学内での広報活動

卒業研究としての発表

「相撲競技者の体組成と身体機能に関する研究」をテーマに学内で発表

多面的な波及効果

地域連携活動が研究・教育・社会貢献の三側面に広く波及



相撲×地域活動

に興味を持つ学生が増えてきている



学科長賞を受賞

活動報告4:テーピングの指導

講習会の概要

- ケガ予防のための基本テーピング技術
- セルフケアの方法
- スポーツ障害への対策(特に膝を中心に)
- 実践的なデモンストレーション

地域事業補助金を活用

専門的かつ実践的な学びの機会を提供



今後の活動における展望目標



専門講師の招聘

専門講師を招いた高度な講習会の開催を予定し、さらなる関わり方の向上を図る



活動の拡大

地域施設を活用した「健康支援イベント」へと活動範囲を拡大



科学的探究の継続

測定データを活用した研究・教育活動を継続し、学術的知見を蓄積



モデル確立

将来的には「地域スポーツ×健康支援モデル」の確立を目指す

